

# 事業概要シート

施策 0501 健康づくりの推進

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く  
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	健康管理システム整備事業	現状維持	予算額	5,214 千円
			《 》	19,674 千円
事業期間	平成17年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	5,214 千円
根拠法令 要綱等				

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】**

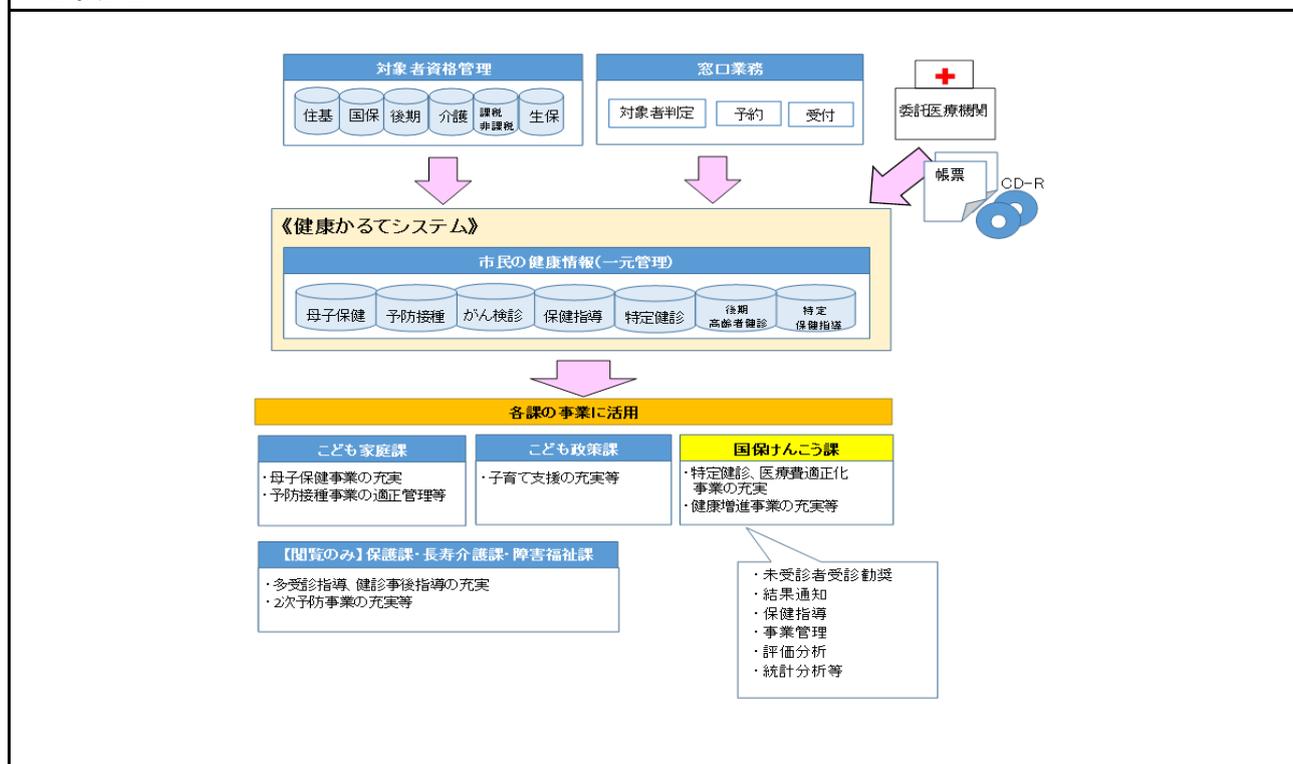
市民の健康に関する情報をデータとして一元的に電算管理することにより、健診受診勧奨や健診受診後の事後指導を効率的に実施し、市民の健康状態の改善、医療費抑制を図る。

**【概要】**

健康づくりに関連した各種事業、生活保護世帯、高齢者福祉事業および障害者福祉事業の対象者のデータを管理し、健康診査結果など健康情報を把握、各事業における疾病予防、介護予防の取り組みに活用する。令和3年度はシステムサーバの更新、新型インフルエンザ予防接種のマイナンバーとの連携（副本登録対応）改修を行う。

**【対象】**

健康管理システム



**【背景】**

旧健康管理システムはAccess2002で構築されていたため、制度改正に伴うシステムの補修や改修が困難となっていた。また、業務管理がメインであったため、分析による事業評価が難しく、効果的な事業の実施に支障があった。

関係各課が持つ市民の健康情報を一元的に電算管理し、効率的に保健指導や健康課題の分析に活用できる汎用性のあるシステムが必要となり、平成27年7月に新しい健康管理システムを導入した。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	課長	前川 靖彦
担当者	松尾 あずみ	問合せ先	0957-53-4111 (内線152)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	健康管理システムを導入したパソコン台数	計画値 台	24	26	26	26	26
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	特定健康診査受診率	計画値 %	48.0	40.0	45.0	50.0	50
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	5,599	5,214	19,674	5,214	5,214	5,214	46,129
国庫支出金			2,855				2,855
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	5,599	5,214	16,819	5,214	5,214	5,214	43,274
人件費	364	1,454	1,454	364	364	364	4,363
職員(人)	0.05人	0.20人	0.20人	0.05人	0.05人	0.05人	0.60人
時間外勤務(h)	0h	0h	0h	0h	0h	0h	0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	5,963	6,668	21,128	5,578	5,578	5,578	50,492

妥当性 (市の関与)	健診受診勧奨や健診事後指導を効率的に実施するためには、市民の健康情報を一元的に管理できるシステムの充実が必要であり、システムは住民基本管理台帳の情報を元に構築され、蓄積された個人情報であるため、その管理を市が主体となって行うことは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	システムによる健康情報の一元管理により、地域別、年齢別等の健康課題の把握・分析が可能となり、予防活動が促進され、市民の健康づくりに貢献するものである。
効率性 (コスト)	事業実施の基礎となるデータを管理するための必要最小限の仕様であり、削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり